事業名　**つながる力を育てよう**

目　標　**子どもたちと保護者・地域の人々が、共同でより良い環境を作り出す作業を通して、子どもたちのつながる力を育てる。**

１．取組の視点

本校区は、「共育のまち伏見」を合言葉として、地域と連携した子育てを先駆的に実施してきました。

その土台の上に立ち、軌道に乗り始めた学校支援地域本部事業の活動を拡大、充実させる方向で取り組みました。学校支援地域本部事業の活動を地域で決める学校予算事業の中に組み入れ、校区の子どもたちに育てたい力を「つながる力」とスローガン化したので、そのスローガンの下、地域ぐるみの子育てを展開することが重要であると考えました。子どもたちと保護者・地域の人々が、共同でより良い環境を作り出す作業を通して、子どもたちのつながる力を育てることが望ましいと言えます。特に、ボランティアスタッフと連携して、親子清掃活動・ふれあい美化作業（野神公園美化作業など）・通学路の美化作業等を実施するなかで、地域ぐるみの活動を推進することにしました。

２．取組の概要

（１）野神公園美化作業

伏見中学校生徒会・部活動が、地域自治会と協力して清掃活動を行いました。

（２）地域ボランティア美化作業

各校園での園芸作業・花壇作り、通学路の美化作業を実施しました。

（３）二十歳を祝う会の協力

１月８日に二十歳を迎える成人を校区でお祝いをして、次世代の担い手を激励しました。

（４）共育プロジェクト「響」の開催

校区学校関係者（小・中学校教職員・自治会・少年指導協議会・ＰＴＡ・同窓会・校区保護司など）が一堂に会して、子どもの様子や地域連携の在り方を話し合いました。

３．成果と課題

校区の子どもたちに育てたい力を「つながる力」と設定し、地域ぐるみの子育てを展開しました。

ボランティアの数が増え、さらに活気ある活動が広がりつつあります。そして、幼小中のボランティアの活動の連携が深まりました。

また、校園でボランティア活動をしている状態が自然で、常態化しつつあるようになってきています。

しかし、ボランティアの方々との話し合いが十分にとれなく、限られた人達の活動になってしまった取組があります。コーディネーターとの連携を密にし、活動の明確化・活性化をはかる必要があります。

地域の人が校園の活動に参画し、協働できるよう、取り組みを進めていきます。

奈良市立伏見中学校

事業名 **つながる力を育てよう**

目　標 **みんなで、美しく誇りの持てる学校・地域を作り出し、人と人とのつながりを深め、地域と連携した生徒主体の取組の推進をする。**

１．取組の視点

みんなで、美しく誇りの持てる学校・地域を作り出し、人と人とのつながりを深め、地域と連携した生徒主体の取組の推進を目指しました。地域と学校が協力したふれあい行事（ふれあい体育大会、ふれあい文化発表会、ふれあい美化作業）の開催をしました。また、地域と連携したキャリア教育やボランティア活動を実践しました。特に、図書館ボランティアが充実し、本の整理だけではなく、本の読み聞かせ、コスモス読書会などに広がりをみせました。そのような活動を通して、ボランティアの人と共に、さらに活気ある活動を広げていきたいです。

２．取組の概要

（1）学校図書の充実

① 昼休みに、生徒図書委員と共に、生徒に本の貸し出しをする。

② ブックカバー掛け等の作業をする。

③ 生徒図書委員と共にポップ（本の宣伝文）を作成する。

④ 絵本の読み聞かせをする。

（2）教育環境の充実

① ふれあい美化作業等で、校内・校外の清掃活動を実施する。

② ふれあい文化発表会・ふれあい体育大会で校区に開かれた学校づくりを実践する。

（3）学習支援活動 の充実

① 放課後自習室（毎週火曜、金曜）を開催して、学力向上を目指す。

② ケナフ栽培をして、紙作りの補助をおこなう。

３．成果と課題

私たちの最大の願いは、「子どもたちが地域の中で見守られ、育まれながら、生き生きと楽しく学校に通って来る」ことです。子どもたちの取組を地域で支援しようという機運が高まり、学校が地域の信頼を得るために、あらゆる機会に学校や子どもたちを知ってもらうという地道で根気強い取組を進めました。

校内、校外でボランティアの人が活動している状態が、自然で、常態化しつつあります。しかし、ボランティアの方々との話し合いが十分にとれなく、限られた人達の活動になってしまった取組があります。

学校側のニーズと、ボランティアの思い・熱意を、きめ細かくすり合わせをおこない、 活動の明確化・活性化をはかる必要があります。

奈良市立伏見小学校

事業名　**いきいき　わくわく　地域とともに**

目　標　**地域の文化遺産、自然環境など地域のよさを知り、守っていく**

１．取組の視点

本校の校区には多くの地域遺産があり、自然環境にも恵まれています。また、地域の学校に対する関心も高く人材にも恵まれています。

このような立地条件を生かし、各学年に応じて地域の文化的遺産や伝統を調べることにより、子どもたちの地域への興味・関心を高め、自ら学ぶ力をつけていきたいです。そして、このことから地域の伝統や文化的遺産を守り、愛する気持ちを育てていきたいと考えています。

また本校には奈良県版レッドデータブックに記載されている「イヌノフグリ」、さらに「カンサイタンポポ」も自生しており、自然環境においても里山的な自然が見られます。このことを知り、調べることにより、自然環境を守っていくことの大切さを知り、身につけさせたいです。

学習に関する支援してくださる地域の方々のもついろいろな力を知り、自らも地域の一員としての意識をもてるようにもしていきたいです。

２．取組の概要

（１）地域の文化遺産を生かした活動（６年）

・校区内の文化財や歴史に目を向ける。
・ゲストティーチャーのお話を聞く。
・グループを作り、活動計画を立て、調べる。
・伏見遺産発表会を開く。

（２）地域の自然環境を生かした活動

・３種類の春の身近な草花を集めよう。
・植物の名前について考えよう。
・伏見小植物図鑑で調べよう。
・伏見の自然について考え、まとめよう。

（３）学習支援活動、読書活動等

・家庭科学習支援（手縫い、ミシン）
・読み聞かせ（毎木曜日、おひさま・ﾈﾊﾞｰﾗﾝﾄﾞ）
　七夕の読み聞かせ、大紙芝居、スライドショーなどもしていただいた。
・本の修理（年５回、おひさま・ＰＴＡ）
・昔遊び大会（１・２年）　・邦楽鑑賞（６年）

（４）学校環境の整備活動

・清掃キャンペーン（年５回）

３．成果と課題

地域の文化遺産に関して各学年に応じて行うことができました。特に６年は伏見遺産について年間を通してすすめ、講師の先生から教えていただいたことをいかし、さらに充実したものとなり、各自が自信をもちその成果を発表しました。

地域と自然環境に関して、植物については４年を中心としてすすめ、多くの植物が学校内にもあることがわかり、校区の自然の豊かさを知ることへと広げることができました。

地域の方々の学習支援に関しては家庭科支援や昔遊びなどに地域の方々の積極的な協力があり、どの活動も充実したものとなりました。

さらにニューズレター等を利用し、活動について保護者や地域に知らせていきたいです。

事業名　**出会いと体験から豊かな学びを**

目　標　**多様な人との関わりを大切にした体験学習を通して、人間関係能力を育み、自ら学び考える力を身に付ける。**

１．取組の視点

本校では「やさしい笑顔があふれ、一人一人が輝く学校 ～地域と共に子どもを育てる～ 」をテーマに本事業に取り組んできました。継続的に研究を重ね取組を進める中で、児童は、自分たちが生活する地域社会と積極的にかかわり、主体的に課題を見つけ、追究し、学ぶ楽しさを味わうとともに、地域を愛する心やよりよい生き方を考える力を身に付けてきました。

本年度は、家庭や地域との協働体制をより強め、地域の多様な人々との出会いやふれあいを大切にした体験的な学習に重点をおいて取り組みました。

２．取組の概要

「お話の会」では年間１０回の読書指導に関わっていただきました。読書活動の形態は一様ではなく図書館での読み聞かせの他、教室に入り込んでの朝読書の時間の読み聞かせなど子どもたちがお話の世界に引き込まれる工夫がなされてきました。自ら本を手にする子どもの育成を目標に保護者・地域のボランティアの方々と連携しながら取組を進めてきました。ボランティアの方からは、「子どもたちがいつも大変興味深く話を聞いてくれてうれしかったです。私自身も読み聞かせにふさわしい本を選んだり朗読の勉強をしたり、自分を高めるとてもよい機会になりました。」という声が届けられました。

また、環境教育の一環として、本年度初めて地域自治会の協力を得て、「地域の池を美しくしよう」というテーマで水質を浄化する酵素の入ったＥＭ団子づくりに取り組みました。あやめ池地区では大和川の源流である地域の池を美しくする活動をされてきました。本校４年生児童は、自分たちも学校前の蛙股池の水質を少しでも良くしようと、地域の方の支援を受けこの学習活動を行いました。子どもたちは自分たちが地域の環境浄化に関わることで自分たちの地域を大切にしようとする意識を高めることができ、更にこの取組を広く地域に広報しようと環境ポスターを描く活動にも発展しました。

３．成果と課題

地域の環境を生かした教育活動や多様な人々とのふれあいを重視した体験的な学習に取り組みました。児童は学習を通して、自分が住む町への関心を深め、共に生きる心や地域を愛する心を豊かに醸成させることができました。また、体験的な学習を通して素晴らしい生き方に出会うことによって、児童は自らの生き方を真摯に見つめ、人としてよりよい在り方を求める力を養うことができました。更に地域に根ざした学習活動を実施することにより、保護者や地域の方々の学校教育に対する願いを知り、また本校のめざす教育についての理解を深めることができました。

事業名　**出会い　ふれ合い　学び合い**

目　標　**地域の伝統や自然を愛する心を養い、伝統のよさを知る！**

１．取組の視点

地域の伝統文化･文化遺産･自然環境を調べたり観察したりすることで、自然を愛する心を養い、地域の伝統を守っていく大切さや地域のよさを知るという視点から取り組みました。地域の方々や保護者と一体になって進めた取組です。

２．取組の概要

栽培活動では、どの学年も何らかの植物を栽培しています。水をあげなければ枯れる・草も引かなければ大きく育たない。「いやだ。めんどうくさい。」子どもにとってやりたくないことかもしれませんが、「世話をするときれいな花が咲くんだよ。おいしい野菜が収穫できるよ。」少し先の喜びを目標に、子ども達は体を動かし、汗を流して小さな達成感を味わうことができました。

読書活動は、子ども達が、人生をより深く生きていく力を身に付けるうえで欠くことのできないものです。よい本との出会いを大切に、読書経験を積み重ねることで、子ども達は想像力を広げ、考えを深め、感性を磨き、判断力を伸ばし、表現力を高めます。全ての子どもが読書に親しみ、知る喜びを感じることができるよう、様々な読書機会を提供するように取り組みを進めています。

ぶっくらばこさんでは、本の修理やブッカーかけもしてもらっています。「修理に来させていただき、学校の様子もわかり子どもたちとの会話がはずみます。」とのこと。

交流活動では、各学年のねらいや発達段階に合わせて、その道の専門家、ボランティア団体の代表の方々など多種多様の方々をお招きし、共に活動したり、お話を聞いたりしました。**昔遊びでは**、「童心に返って教えるというよりも､子どもたちといっしょになって遊んでしまいました。」お手玉では「みんなとても関心をもって素直に話を聞き、上手くなりたくて頑張る姿に感動をしました。」という感想をいただきました。

清掃活動では、６月・夏休み中・９月と、地域の方々と保護者で学校のまわりや運動場の草引き、溝掃除校舎内の清掃などをしていただき、学びやすい環境作りにご協力いただきました。

３．成果と課題

日本の伝統文化・文化遺産に出会い、飼育栽培活動や地域の方々とのふれあい、地域の伝統文化との出会いや飼育栽培活動、地域の方々との交流活動では、認めてもらったり、できる喜びを味わったりして、自尊感情や感謝の気持ちが育まれ心の育ちにつながりました。さらに、協力の大切さや自分の責任・役割をはっきりさせ積極的に取り組むようにもなってきました。また、読み聞かせや図書館の本の充実で本に親しむ姿が多くみられ読書習慣も身に付いてきました。これらの取組を継続させるとともに地域の方々とのふれあい等を充実させる環境を整えること、取組についてさらに啓発することが今後の課題です。

事業名　**いきいき・わくわく伏見っ子　地域とともに**

目　標　**優しい心、思いやりの心、感動する心を育む。**

１．取組の視点

本園は、近くに西大寺・喜光寺・菅原天満宮・平城宮跡などの文化遺産に恵まれています。初めて出会う学校として、地域の幼児教育センターの役割を担う幼稚園として取組を進めています。地域の方々も園の教育に理解を示し、協力的です。いろいろな活動を通して、人と人とのつながりを広げ地域の協力者やボランティアの協力を得ながら、地域を愛し守ろうとする心・優しい心・思いやりの心・感動する心を育み、主体的に遊ぶ幼児を目指しています。

２．取組の概要

【収穫の喜びを味わう】

様々な経験を園児にさせたいと計画し、イチゴ摘みをさせていただける地域の方を紹介していただいた。園の近くでイチゴ摘みという経験は、園児にとって、とても楽しいものでした。イチゴ

摘みの経験から、園児たちは地域の方に親しみを感じ、園に招待をしていっしょにカレーを食べるなど楽しい時間を過ごしました。また、秋にはサツマイモ掘りの体験もさせていただき、大きなサツマイモを掘り、収穫の喜びと地域の方への感謝の気持ちをもつ機会となりました。

【地域の文化財に触れる】

喜光寺に園外保育に出掛け、地域の文化財に触れる機会をもちました。副住職の方から喜光寺について話を聞きました。分かりやすいお話で、興味をもって聞くことができました。そのあと、きれいに咲くハスの花を見せていただきました。

【未就園児保育】

２、３歳児保育を行なっています。親子で園庭遊具で遊んだり、ままごと遊びやブロック遊びをしたりなどを楽しんでいます。入園前に幼稚園に親しみを感じるように、また保護者や幼児の触れ合いの場になるようにと考えています。大型絵本やエプロンシアター、講師を招いて体操教室など親子で楽しめる内容を工夫し保育を行っています。また、地域の方々の協力を得て、一緒に保育を行なっています。

３．成果と課題

人と人とのつながりが広がり、ゲストティーチャーを紹介していただき、職員だけでは補えないことを教えてもらえたり、地域の方が幼稚園に繰り返し足を運んでいただいたりすることで、地域の中の幼稚園として、身近な存在となることができました。園児にとっても、地域の人々との触れ合いにより、自分たちの地域を知り、親しみを感じることができました。さらに、地域の方にとっても、園のことを知ってくださる機会となり、より協力的に園にかかわってくださるようになりました。また、未就園児保育では、地域の方の協力を得ることで内容の充実につながり、在園児との交流や触れ合う機会も多くなりました。

事業名 **園・家庭・地域　笑顔でつなごう手と心**

目　標　園・家庭・地域が互いに手を携えながら、互いに心通わせみんなが育ち合う園づくり

１．取組の視点

地域の方に見守られながら、保護者とともに様々な体験を積み重ねる大切さを感じ、地域の中にある自然を知り、自分たちの住む町を好きになります。また、地域の方々の協力を得て、人との触れ合いを大切にするなどの取り組みを進めます。本年も「地域の身近な自然や様々な人とのかかわり」「感動体験の積み重ね」「幼児の体力向上」「教育環境の充実」に視点を置き、本園の教育目標である「豊かな心をもち、いきいきと活動する幼児」の育成を目指し取り組みました。

２．取組の概要

〇地域の身近な自然や様々な人とのかかわり

四季折々に変化する自然を知ることで地域の

素晴らしさを感じられるように、月１回地域のゲストティーチャーやボランティアとともに探検したり、習字の日や菜園活動などもたくさんの人たちに支えられたりしています。回を重ねるごとに自分たちから地域の人たちに声をかけるようになり、親しみの気持ちを表すようになってきました。

〇感動体験の積み重ね

お茶の日や干し柿作り、影絵鑑賞会を実施しました。お茶の作法から点て方、いただき方まで順序立てて４回に分けて教えていただきました。参観で保護者にも真剣に取り組む姿を見ていただきました。また、本物の影絵を間近で見て、影の不思議さや鮮やかな色合いに親子共々魅了された感動体験でした。

〇幼児の体力向上

毎朝の縄跳びやフープ遊び、地域の方と交流のグランドゴルフや小学校との連携遊び、親子触れ

合い遊び等を楽しみました。親子のふれあい体操では、ゆっくりと親子でスキンシップする時間や肌を触れ合いながら楽しく体操を、１回目は家族みんなで、２回目はお母さんとする取り組みをしました。家族みんなで汗をかいて楽しみました。

〇教育環境の充実

今年度砂場に屋根ができたが、隙間からの日差しが心配と保護者からの要望で遮光ネットを貼ることにしました。休みの日に保護者ボランティアが集まり屋根の上にネットをかけました。大好きな砂場に屋根ができたので、日差しを気にせずに友達と思いっきり体を使って遊ぶ姿が見られるようになりました。

３．成果と課題

園・家庭・地域が連携を図り、地域の自然との触れ合いを通して、優しい気持ちや一緒に過ごす楽しさ、感動や緊張・不思議さなどを感じることができました。様々な環境を意図的に計画することで新しいことに挑戦する気持ちも育ち、園に関わっていただいた方々に感謝する気持ちも育ってきています。今後も地域の方々に足を運んでいただけるような特色のある園作りに努め、地域全体で子どもたちを育てられる体制つくりに努力していきます。

奈良市立西大寺北幼稚園

事業名　**地域とつながる・ふれあい・響き合い・育ち合い**

目　標　チャレンジ精神を養い、意欲的な子を育てる。

１．取組の視点

園周辺には、マンションや住宅の開発が進み他府県からの転入者が多く、近隣どうしの人とのふれあいが少なく人間関係が希薄で核家族が多い傾向がみられます。そのため人と関わって遊ぶことの楽しさを共有しにくい現状があります。地域の教育力を生かし専門性のある方とふれあいながら、大勢の人と

かかわっていただいています。一緒に遊んだり、様々な経験を積み重ねる中で、人の温かさに触れ、子どもたちは自己発揮し、人と関わる楽しさを味わっています。豊かな心を持ち、生き生きと活動する幼児に育つ事を目指してこの事業を進め、結果、定着してきました。「サッカーを楽しもう」「「栽培教室」「作って遊ぼう」「お話こんにちは」「習字を楽しもう」「お茶を楽しもう」「英語を楽しもう」「人形劇を楽しもう」は、子どもたちが大好きな活動です。

２．取組の概要

＜栽培教室＞随時

〇地域の方から、野菜の育て方を教えて頂きました。土づくりから始め親子で種まきや苗植えの経験もして地域と保護者も一緒に取り組みました。自分たちで育てた野菜を収穫して地域の方たちを招待し一緒に食べる経験をしました。地域の方たちに見守られている安心感や、楽しく会話することで「おいしい」と感じられる喜びを味わいました。

＜サッカーを楽しもう＞随時

〇ボールを使って体ほぐし体操をしたりボールを扱う遊びを取り入れながら無理なくサッカー遊びに親しむ。回を重ねるごとに保護者からは「ゲームらしくなってきて、子どもがたくましくなっていく様子がうれしいです。」と、行事参観の感想・評価をいただきました。

＜作って遊ぼう＞随時

〇手作りおもちゃの作り方や自然物の石や木ぎれなどの接着の仕方を教えていただきました。『おもしろ実験教室』では、火おこしや噴水などの不思議な世界に興味をもつことができました。

＜お話こんにちは＞毎週１回

〇おもしろい話、悲しい話、こわい話、教師とはまた違った口調に喜んで話に聞き入りお話大好きで心待ちにしています。

＜お茶を楽しもう＞

〇日本の伝統文化に触れ行儀作法や相手を思いやってお手前することを学びました。

＜英語を楽しもう＞随時

〇歌やリズム遊びで無理なく英語に親しんでいます。

＜人形劇を楽しもう＞

〇卒園生の保護者に人形劇や人形の動かし方など見せて頂き興味を持ちました。

＜習字を楽しもう＞随時

〇年長全園児が筆に慣れ親しむことから「つ・く・し」とかくところまで教えていただきました。

□３、成果と課題

〇　地域の方々の専門性をいかしていろいろなことを教えていただき、生き生きわくわくしながら生活することができました。今後も地域との連携を定着され発展するようにしていきたいと考えています。